



築100年の一戸建てを賃貸併用住宅にリノベーションした建築家の自邸



100年前の建設当時のデザインが保持され、英国の建築様式を基調に伝統的芸術性を備えた賃貸併用住宅。「ヘリテージ・ビルディング」を示すプレートが階段アプローチ脇に掲げられている。濃赤に塗装されたウエスタンレッドシダーの外壁に、屋根の破風板やバルコニーの手すり、玄関ポーチの柱などの白色が映え、印象的なファサードとなっている。

1912年に建てられたこの住宅は、文化的伝統価値がある建物として、バンクーバー市の「ヘリテージ・ビルディング」に登録されています。築100年を迎えた2012年、現在のオーナーである建築家が購入し、14カ月のリノベーション工事を経て、3住戸の賃貸スペースを持つ併用住宅に再生されました。

リノベーション工事では、建設当時のバルーン・フレーム構造は保持され、ヨーロッパ建築に影響を受けたファサード（南側）の急勾配切妻屋根や階段アプローチ、玄関ポーチとバルコニーのデザインはそのまま残されましたが、間取りは全面的に変更され、南側の3フロアがオーナーの住戸となっています。賃貸住戸は、倉庫として使われていた地階が改築されて2住戸が造られ、また小屋裏を利用して3階が増築され、メゾネットの1住戸が増設されました。地階の改築は、土台をジャッキアップして地盤の一部を約50cm掘り下げ、コンクリート基礎を新設。これにより地階に居室としての天井高が確保されるとともに、基礎が強化され、3階の増築が可能になったのです。動線が重ならないように、地階住戸の玄関は西側に、メゾネット住戸の玄関は東側に振り分けられています。



地階の真鍮2住戸の玄関は西側に配置された。地階に降りる階段が写真手前と奥にある。



オーナーである建築家の自邸のリビング・ダイニング。外観は英国建築様式のシンプルデザインが基調になっているが、玄関（写真左手）を入ると、コーニス（廻り縁）や窓にモールディングをまわした装飾性の高い空間が現れる。白が基調の内装に合わせ、玄関ドアは内側だけが白色に塗り替えられた。



階段の吹抜けが取り込まれたキッチン。オープンにつながるリビング・ダイニングとトータルにデザインされている。



2階の南側に配置されたバスルーム。大きなベイウインドウがあるので明るく、風通しが良い。



2階のベッドルーム。半屋外空間のバルコニー「スリーピングポーチ」は玄関ポーチの上に位置する。



小屋裏空間を利用した3階のゲストルーム。手前にバスルームが設置されている。

所在地 : カナダ ブリティッシュ・コロンビア州バンクーバー市

設 計 : ジム・パッセイ

延床面積 : 416m²

リフォーム : 2014年

Photo & Report : [Peter Powles](#)

【無断転載禁止】

本ページ掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。